

南アルプス市立八田中学校 後期自己評価書

平成27年1月8日(金)作成

学校長：鈴木 正一	記述者 教頭：数野一郎	教諭 飯野武重
-----------	-------------	---------

1. 校訓 「日日新」
2. 本年度の学校教育目標
「知育・徳育・体育」の調和のとれた人間形成
は 励んで学び、確かな知識を持つ生徒 (知育) → 知の力
っ 強い精神と身体を持つ生徒 (体育) → 体の力
た 助け合い、いたわり合う心を持つ生徒 (徳育) → 心の力

3. 学校経営方針
(1) 職員の創意・工夫により、開かれた特色ある信頼される学校づくりに努める。
(2) 生徒理解を深め、一人ひとりの良さや可能性が生かされるよう努める。
(3) 教職員としての資質能力の向上を図り、信頼される教育活動の実践・展開に努める。
(4) 家庭・地域との連携により、望ましい教育環境づくりに努める。
4. 生徒の努力目標
(1) 授業にしっかり取り組もう (主体的・能動的・積極的に取り組めたか)
(2) さわやかに挨拶をしよう (今日の、この出会いを大切に出来たか)
(3) 思いやりの心を行動につなげよう (相手の身になって考え行動できたか)
(4) 主体的に活動しよう (3本の木を大切に、創意工夫をもち取り組めたか)
5. 教師の努力目標
(1) 社会や地域の変化に対応できる力を持ち、常に自らを見つめ直していく教師
(2) 異なるものを受け入れ児童生徒の特性を見だし伸ばしていく教師
(3) 教職に対する責任感、探究力を持ち、生涯にわたり学び続けていく教師
(4) 教員と児童生徒、また教師同士で互いに学び合い、育て合っていく教師
6. 学校経営の努力点
(1) 知・徳・体の調和の取れた、「生きる力」をはぐくむ教育課程の編成と実施に努める。
(2) 自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着を図る指導に努める。
(3) 豊かな人間性をはぐくみ、心の安定を図る生徒指導に努める。
(4) 体力・健康・安全に関する指導の充実に努める。
(5) 家庭・地域・関係機関との連携を深め、開かれた信頼される学校づくりに努める。

I 後期学校評価の結果と前期学校評価の比較

1. 教職員の自己評価

(1) 後期の結果

《A・B (肯定的評価) において》 (昨年度1:たよりや通信)

① A・B (肯定的評価) の合計が90%未満の項目について

「教育課程3 あなたは、道德の授業はもとより学校生活全体にわたって道德性が育つようにしている。」95%→89%

「教育課程4 あなたは、学級会活動を通して学校生活を向上させようと話し合いや取り組みをさせている」95%→89%

(2) 前期との比較

① A評価が10%以上向上した項目について (昨年度1)

「学校運営2 あなたは、学校の教育活動の中で、「合唱活動・部活動・応援」に力を入れ取り組んでいる。」58%→79%

「学校運営4 あなたは、校舎内外の施設・設備や火災・防災訓練等の安全対策は充実していると思っている。」42%→58%

「学校運営5 あなたは、合唱などで地域講師を活用するなど、地域と協力し合っていると思っている。」68%→80%

「教育課程1 あなたは、基礎基本が身につくように、授業のやり方や教材を工夫している。」47%→63%

「教育課程2 あなたは、学習面(生活)で生徒の持っている資質や能力・実績や努力を適切に評価している。」43%→53%

「教育課程3 あなたは、道德の授業はもとより学校生活全体にわたって道德性が育つようにしている。」37%→53%

「生徒指導2 あなたは、生徒に規範意識を指導したり、他の教師と協力して生徒の問題行動に素早く対応している。」58%→74%

「生徒指導5 あなたは、生徒が学校生活全体を通してのびのびと学んだり、安心した学校生活を送れるようにしている。」37%→53%

② A評価が10%以上減少した項目について (昨年度0)

「学校運営6 あなたは、生徒の学習や生活のようすを家庭に知らせ、家庭と連携して学校生活を良くしようとしている。」58%→37%

「教育課程4 あなたは、学級会活動を通して学校生活を向上させようと話し合いや取り組みをさせている。」26%→16%

「生徒指導1 あなたは、生徒に気軽に声をかけたり、それぞれに合ったアドバイスをしている。」58%→47%

「生徒指導4 あなたは、生徒のあいさつや時間指導、家庭学習や提出物等、基本的生活習慣を向上させようとしている。」58%→47%

「生徒指導6 あなたは、いじめのない学校を目指して、積極的に取り組んでいる。」79%→63%

「特別活動3 あなたは、生徒が生徒会活動や委員会活動等に積極的に取り組めるよう指導していますか。」58%→47%

「特色ある学校2 あなたは、「自主学習ノート」の取り組みが、主体的な学びにつながり、学力が向上すると思っている。」42%→26%

《C・D (否定的評価) において》 (昨年度0)

① C・D (否定的評価) が10%増えた項目について

該当項目なし

② D (否定的評価) の評価がついた項目について (昨年度0)

該当項目なし

※前期A・Bの肯定評価が90%未満であったものは、「特色ある学校2 あなたは、「自主学習ノート」の取り組みが、主体な学びにつながり、学力が向上すると思っている。」の84%の1項目であったが、後期は95%と改善された。

※後期A・Bの肯定評価が90%未満であったものは、「教育課程3・4」の2項目(上記(1))となってしまった。しかし、共に89%であり、許容範囲と受け止めている。だが、下がった結果は真摯に受け止め原因を探ると、2学期は学園祭や合唱コンクール等の学校行事が立て続けにあり、落ち着いた雰囲気での道徳授業の展開や学級会活動を図ることが出来なかったことに起因していると思われる。

(3) 次年度取り組み課題(自由記述より)

- 今後も生徒指導において、保護者と連絡を密にとり、家庭と役割分担しながらかかわっていききたい。
- 道徳の時間を確保しながら授業や帰りの会で大切なことは伝えていく。
- 生徒にあったアドバイスについて、情報交換や情報を共有して、全職員が同じスタンスでかかわっていく。
- 生徒指導について、学年・全校でその都度細やかに対応していく。
- あいさつ等、押しつけではなく自主的にできるように指導・支援していききたい。
- ゆとりを持って生徒と真摯に向き合い、いじめのサインを見逃さない。
- 進路学習等、積極的に二者懇談を実施していく。
- 来校者等にはよく挨拶ができているが、校内に対する挨拶ができるように指導していく。
- 清掃活動にも課題が見られるようになった。時間を守らせ「精一杯きれいにする」という奉仕の心が育つ実践をしたい。
- 時間を守る規律の徹底がなかなかできない。下校時が特に守れず厳しい対応(部活動停止)を考えるべきである。
- 外部講師を招いたり、主体的に取り組めるように仕組んだり、今後も総合的な学習が生徒のためになるようにしたい。
- 月1度の委員会活動があり、反省と次回の計画と生徒も自覚して取り組めた。今後も基本的に週一度のふれあいの日をお願いしたい。
- 基礎力をあげる取り組みが急務である。
- 自主学習ノートの取り組みが学力向上につながるように、今後も研究が必要である。
(自主学習ノートの生徒全員への徹底は難しいが、習慣が定着している生徒は良く取り組みができている。)

2. 学校生活に関する生徒アンケート

(1) 後期A・B評価の合計が80%未満の項目

- ・学校運営1. あなたは、教室の前に掲示してある学校教育目標の達成のために何か具体的な努力をしていますか 【79%】
- ・特色ある学校2. あなたは、「自主学ノート」の取り組みが、自分の学力向上になるとおもいますか。 【78%】

(2) 前期A・B評価の合計が80%未満の項目が、後期にどう変容したかについて

【前期→後期】

- ・学校運営1. あなたは、教室の前に掲示してある学校教育目標の達成のために何か具体的な努力をしていますか 【75%↑79%】

(3) 前期A・B評価の合計が80%以上であったが、後期評価が上下5%以上変容があった項目

- ・教育課程1. あなたは各教科の先生が、基礎基本が身につくように、授業のやり方や教材を工夫していると思いますか 【88%↑93%】
- ・教育課程4. あなたの学級は、学校生活を向上させようと話し合いや取り組みをしていると思いますか。 【82%↑87%】
- ・教育課程5. あなたは、2学期の「総合的な学習」が自分のためになったと思いますか。 【86%↑91%】
- ・生徒指導1. 先生は、気軽に声をかけあったり、それぞれに合ったアドバイスをしてくれると思いますか。 【88%↓83%】
- ・生徒指導4. あなたは、あいさつや時間の厳守、家庭学習や提出物など、基本的な生活習慣の向上を目指していますか。 【87%↑93%】
- ・特別活動1. あなたは、進路学習や校外学習等に向けた取り組みなど、目標等を決め、主体的に学習していますか。 【84%↑89%】
- ・学校生活全般1. 学校生活は全般的に楽しいと思いますか。 【91%↓86%】

(4) (2), (3)の項目の中で下がったもののうち、昨年後期と比べて上下5%以上変容があった項目

- ・該当項目なし

(5) 前期評価との比較及び取り組みの成果と課題

26項目中、前期A・B評価の合計が80%未満の項目が1つ(上記(2))であったが、後期は2つ(上記(1))となってしまった。前期の80%未満の項目は、**前期結果の反省を受け**先生方の意識した取り組みにより、75%→79%と大きな伸びをみせることができた。結果的には80%を切るようになってしまったが、80%未満の後期の2つの項目は、79%、78%と概ね肯定的評価と捉えることができる。また、90%を超えた項目についても前期は11、後期は12と1つではあるが微増した。

これらのことから学校全体として、26項目全てにおいて肯定的な評価を示すことになり、生徒達にとって高い満足度のある学校生活を送られているのではないかと考えられる。しかしながら、各学年における課題を明確にして取り組み、学校全体としてより満足度を高める**改善が必要である**。

昨年度の大きな課題であった「特色ある学校2. あなたは、「自主学習ノート」の取り組みが、自分の学力向上になるとおもいますか。」は、H26後期(70%)→H27(前80%・後78%)と大きく改善することができた。「自主学ノート」は昨年度より家庭学習の定着・習慣化を図って始めたことであるが、校内研究を積み重ねた結果といえる。しかしながら前期か後期にかけて、1年は10%・2年生は6%下がり、3年は受験もあり7%と上がるなど**学年での変化が著しく**、今後もこの**結果を踏まえた**取り組みが必要である。

また、携帯電話の保有率が高まってきている。中学生において携帯電話はトラブルの大きな要因になっていることから、今後も**家庭と連携しながら、早急に携帯電話の使用規定について**対策が必要である。

学年別の結果について、1年生は26項目中80%以上であった項目が前期19(内6:90%以上)→後期22(内8:90%以上)項目と全体的には自主的に前向きに取り組めるように成長している。80%未満は7項目→4項目と減ったわけであるが、中でも特色ある学校2「自主学習ノート」(79%→69%)と大きく落ち込んでしまっている。現状として提出状況が落ち込んでいるようであるが、生徒のモチベーションを図り**つつ**早急な対応が必要である。また、生徒指導5

「安心した生活」(74%)や学校生活全般1「学校生活は楽しい」(74%)と共に前期より8%のダウンをしているのが気になる。これに合わせるように、生徒指導1「アドバイス」(79%→74%)、生徒指導2「きまりや約束事の指導」(89%→81%)が5%以上のダウンをしている。今後も個別に応じた生徒指導のあり方や居場所・存在感づくりについて検討していく必要がある。<1年 5%以上の変容 ↑11/19 ↓8/19>

2年生は26項目中80%以上であった項目が前期25(内17:90%以上)→後期21(内10:90%以上)項目が80%未満1→5項目と増えてしまったわけであるが、全体的には落ち着いて前向きな学校生活を送ることができている。80%未満で5%以上の変容を示したのは4項目ある。生徒指導1「アドバイス」(88%→79%)、生徒指導3「生徒、保護者と共に生徒をよくする」(90%→75%)、特色ある学校2「自主学習ノート」(81%→75%)、学校生活全般2「授業はわかりやすい」(92%→78%)である。2年生は「中だるみの学年」といわれ精神的にも不安定であり難しい学年であるが、上記の結果を真摯に踏まえて、特に学力向上につながる「自主学習ノート」の取り組みや「授業はわかりやすい」かは、喫緊に改善しなければならない項目なので、全教職員で取り組んでいく。また、3学期は全校のリーダーとなることが意識される時期でもあり、さらに前向きな心が育つよう指導・支援を行いたい。<2年 5%以上の変容 ↑0/8 ↓8/8>

3年生は26項目中80%以上であった項目が前期25(内15:90%以上)→後期26(内21:90%以上)項目と、後期は26項目全てにおいて肯定評価を示すことができた。全校のリーダーとなり、各行事に部活動、委員会活動に全力で取り組んできた生徒達の満足度の表れであるといえる。<3年 5%以上の変容 ↑13/15 ↓2/15>

3. 学校生活に関する保護者アンケート

はじめに

今回の保護者のアンケートは、従来通り兄弟姉妹が在籍していても全生徒について回答をお願いした。その意図は、それぞれの生徒の所属する学年や学級・部活動等をベースとしているため、より多くの評価をいただくためであり、重複した保護者の方にはお礼を申し上げます。また、今回の提出率は97%と過去4年間(H24:44% H25:56% H26:69%)では一番高く、今後も学校教育発展のため御協力をお願いしていく。

(1) A・B評価の合計が90%以上の項目

16項目/25項目中 64% (H26は12項目/27項目中 44% H25は12項目/27項目中 44%)

- 1 [学校運営] 1. 学校は、学校教育目標を達成するために、さまざまな取り組みを行っていると思いますか。【96%】
- 2 [学校運営] 2. 学校は、学校の教育活動の中で「合唱活動・部活動・応援」に力を入れて取り組んでいると思いますか。【95%】
- 3 [学校運営] 3. 学校は、教育方針や生徒の様子等を学年部会やたよりで積極的に知らせていると思いますか。【96%】
- 4 [学校運営] 4. 学校の校舎内外の施設・設備等の教育環境や防災等の安産指導の充実を目指していると思いますか。【94%】
- 5 [学校運営] 5. 学校は、合唱や道徳公開などで地域講師の活用等、学校と地域が八田中教育推のために協力して歩んでいると思いますか。【97%】
- 6 [教育課程] 2. 教師は、学習面(生活面)で、生徒の資質の能力、実績や努力を適切に評価していると思いますか。【90%】
- 7 [教育課程] 3. 道徳教育は、授業はもとより学校生活全体にわたって行われ、道徳性が育っていると思いますか。【90%】
- 8 [教育課程] 4. 学級会活動は、学級集団の自治的向上を目指して充実した活動をしていると思いますか。【93%】
- 9 [教育課程] 5. 学校は、「総合的な学習」において学年の取り組みを通して、学年を追うごとに学びの充実に努力していると思いますか。【92%】
- 10 [生徒指導] 4. 学校は、生徒のあいさつや時間の厳守、家庭学習や提出物等、基本的生活習慣の向上をめざした指導をしていると思いますか。【92%】
- 11 [生徒指導] 5. 生徒は、学校生活全体を通して、のびのびと学び、安心して学校生活を送っていると思いますか。【93%】
- 12 [特別活動] 2. 学校行事は、生徒の成長や学校生活に役立っていると思いますか。【98%】
- 13 [特別活動] 3. 生徒は、生徒会活動や委員会活動に主体的に取り組んでいると思いますか。【92%】
- 14 [特別活動] 4. 生徒は、部活動で目的を持って主体的に取り組む、心身の向上に努力していると思いますか。【91%】
- 15 [特色ある学校] 1. 生徒は、八田中の特色である合唱活動を、教師とともに向上させようと努力していると思いますか。【93%】
- 16 [開かれた学校] 1. 学校は、学期1回の一斉授業、学期1回の学校開放日、休日行事開催等、学校教育公開に努力していると思いますか。【99%】

(2) A・B評価の合計が80%未満の項目

3項目/25項目中 12% (H26年は3項目/27項目中 11% H25年は8項目/27項目中 30%)

- 1 [生徒指導] 6. 生徒は、休日(土日・祝祭日)の過ごし方を充実しようとしていると思いますか。【78%】
- 2 [生徒指導] 7. 学校は、いじめをなくそうと積極的に取り組んでいると思いますか。【76%】
- 3 [特別活動] 1. 生徒は、進路学習や校外学習等に向けてた取り組みで、学習目標を理解し、主体的に学習していると思いますか。【78%】

(3) 昨年後期評価との比較及び取り組みの成果・課題

昨年度のアンケート結果と比較すると、90%以上に達した項目が4項目が増え、さらに15項目の評価がアップすることができた。5%以上アップしたものは、①「教育課程1. 教師は、基礎基本の確実な定着をめざし、やり方や教材を工夫していると思いますか。【76→82%】」、②「教育課程2. 教師は、学習面(生活面)で、生徒の資質の能力、実績や努力を適切に評価していると思いますか。【84→90%】」の2項目である。他の高い肯定評価項目と合わせると、信頼される学校づくりに努力した成果の表れだと言える。

A・B評価の合計が80%未満の3項目について、(2)1の「生徒指導6. 休日の過ごし方」の項目には、各家庭においての子供の様子を見ての回答であるが、長期休業等における有意義な過ごし方も含め、アドバイスを仕組む必要があると考えられる。(2)2の「生徒指導7. いじめ」の項目については、62%(H25)→72%(H26)→76%(H27)と肯定評価は伸びつつあるが、生徒達が安心した学校生活が送れるように「いじめ0」を目指した信頼される学校づくりが必要である。最後の(2)3の「特別活動1. 主体的取り組み」の項目においても、各家庭における子供の様子から判断しての回答であるが、「自主学習ノート」の回答と合わせて、授業や家庭学習においても主体的に取り組める指導が必要である。

自由記述については、多くの肯定意見についてはさらなる向上を目指して取り組み、指摘された意見については真摯に受け止め、分析を踏まえながら改善に努めていきたい。また、自由記述への回答については、個人や全体に分けて対応をしていきたい。

Ⅱまとめ(成果と課題)

これからも開かれた学校，信頼される学校づくり・地域との連携は必要不可欠である。そのためには教職員，生徒，保護者からのアンケートを分析し，計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルで学校運営を行っていかなくてはならない。学校づくりのPDCAサイクルを適切に回すためには，多くの保護者の意見が必要であり，今回のアンケートの提出が97%と大変多くの協力を得ることができ，保護者の方々が八田中教育への関心を持ち，期待していることが伺える。保護者アンケートの90%を越える肯定評価をH25・H26の44%から64%と多くいただいたこと，また合わせて生徒達からの多くの肯定評価をいただいたことは，教職員にとって自信や誇り，モチベーションの向上につながることもできた。しかし少数であるが保護者からの厳しい御意見もあり，御意見に関しては真摯に受け止め，改善すべき点は改善し一人ひとりの生徒に適した指導を心がけるなど，今後ますます開かれた信頼された学校づくりに全教職員が一丸となって全力で取り組みたい。

前期のアンケート結果について，職員会議において十分に分析し，検討を行った。学校全体の課題，学年の課題，各先生方に与えられた課題を明確にし，全教職員が課題意識を持って学校運営に参画できたことが，今回の学校評価の講評につながったといえる。

来年度へ向けて，上述したそれぞれの成果と課題を十分に理解し，全教職員が共通認識を持ちながら，家庭・地域・学校が連携を図り，学校づくりに努めることが大切である。一人ひとりの教職員の持てる力は限界があり，今後は今まで以上の組織的対応を視野に入れながら学校運営に努めていく。